

## 第3学年 理科学習指導案

単元	しぜんのかんさつをしよう (2) 動物のすがたとかんきょう (5時間) 6月上旬～7月下旬						
目標	身の回りの動物の様子やその周辺の環境を比較しながら調べ, 身の回りの生物の様子やその周辺の環境との関係についての見方や考え方をもちことができるようにする。						
単元の 評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然事象への 関心・意欲・態度</li> <li>・科学的な思考・表現</li> <li>・観察・実験の技能</li> <li>・自然事象についての 知識・理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの生物の様子に興味・関心をもち, 愛情をもって関わろうとしている。</li> <li>・身の回りの生物の様子や, その周辺の環境との関わりについて, 比較しながら予想したり, 差異点や共通点を考察したりして, 自分の考えを表現している。</li> <li>・身の回りの生物の様子について諸感覚で確認したり, 虫眼鏡や携帯型の顕微鏡などの器具を適切に使ったりしながら観察し, 記録している。</li> <li>・生物は, その周辺の環境と関わって生きていることを理解している。</li> </ul>					
<p>【学校図書館との関わり】</p> <p><b>情報モラル</b> ○資料などを利用したときには, 出典を明らかにする必要があることを知る。</p> <p><b>学習計画</b> ○課題解決のために, どのように情報を集めたりまとめたりするのかの見通しをもち, 学習計画を立てる。</p> <p><b>図書資料の利用</b> ○図鑑の特徴や構成を知り, 図鑑を利用して課題を解決する。</p> <p><b>目次・索引の利用</b> ○目次や索引を使い, 必要な情報を見つける。</p> <p><b>出典</b> ○日付や資料の題名, 著者名, 出版社名, 出版年, 該当ページなどを記す。</p> <p><b>学習活動の評価</b> ○学習の過程と結果(内容)について評価する。</p>							
時	学習活動 (ゴシックは, 図書館活用ポイントを示す)			評価の重点		評価の視点 (評価の方法)	
		関	思	技	知		
1	<p>○校庭や学校のまわりで, 植物や昆虫, 小動物の様子を観察し, 生物とその周辺の環境との関わりについて調べる意欲をもち。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>どこに, どんな動物がいるでしょうか。かんさつの計画を立てましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春に行った植物の観察について思い出し, 今回は昆虫などの身近な動物を探し, 観察しようという意欲をもち。</li> <li>・どこで, どんな動物を探すのか, 観察の計画を立てる。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>学習計画</b></p>			○			<p>身の回りの生物の様子に興味・関心をもち, 観察の計画を立てている。</p> <p>(発言・観察カード)</p>

2	<p>○校庭や花壇などで見られる昆虫などの動物の様子をくわしく観察する。</p> <p>こん虫などの動物をさがしましょう。どのような動物がどこにいて、何をしていますでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虫眼鏡などを使い、前時に予想した場所で、昆虫などの動物を観察する視点をもって観察する。</li> <li>・観察カードに色、形、大きさなどの姿と、どこで何をしていたかを記録する。</li> </ul>		○	<p>虫眼鏡を適切に使って、昆虫などの動物の色、形、大きさや見つけた場所、していたことを観察し、記録している。</p> <p>(行動・観察カード)</p>
3	<p>○観察カードを基に、生物と周りの様子について共通点を考え、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録した昆虫や小動物の様子をグループや学級全体に紹介する。</li> </ul> <p>かんさつした動物はなぜそこにいたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察した動物はなぜそこにいたのかについて、自分の考えをもち、交流する。</li> <li>・自分の考えを確かめるために、図鑑や百科事典などの図書資料の「目次」と「索引」を使って調べようという意欲をもつ。</li> </ul> <p>図書資料の利用      目次・索引の利用</p>		○	<p>身の回りの生物の様子について、その周辺の環境との関わりを比較しながら考察し、自分の考えを表現している。</p> <p>(発言・記述)</p>
4	<p>○観察した動物と見つけた場所、その周辺の環境との関わりについて考えたことを確かめるために、図書資料で調べ記録する。</p> <p>かんさつした動物は、なぜそこにいたのか、調べましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カードへの記録の仕方や出典を記すことの大切さを知り、自分の課題について調べ、カードに記録する。</li> </ul> <p>情報モラル      出典</p>		○	<p>観察した動物と見つけた場所、その周辺との関わりについて考えたことを確かめるために、図書資料で調べ記録している。</p> <p>(発言・カード)</p>
5	<p>○学習を振り返り、生物とその周辺の環境との関係についてまとめる。</p> <p>かんさつした動物は、なぜそこにいたのか、かんさつしたことや調べたことからわかったことをまとめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書資料で調べてわかったことをまとめる。</li> <li>・動物は、食べ物やかくれ場所があるところをすみかにしていることに気付く。</li> <li>・動物などの生物は、その周辺の環境と関わって生きていることに気付く。</li> <li>・学習のめあてと課題解決の仕方について振り返り、学習のまとめをする。</li> </ul> <p>学習活動の評価</p>		○	<p>生物は、その周辺の環境と関わって生きていることを理解している。</p> <p>(発言・カード)</p>

【本時の目標】

身の回りの生物の様子に興味・関心をもち、観察の計画を立てることができるようにする。

【本時の展開】(1/5時)

ゴシックは、図書館活用ポイントを示す

学 習 活 動	*支援 ○留意点	評価の視点 (評価の方法)
<p>○春に行った植物の観察について思い出し、今回は動物を探し、観察しようという意欲をもつ。</p>	<p>○教科書の絵を見て、意欲を高められるようにする。</p>	
<p>どこに、どんな動物がいるでしょうか。かんさつの計画を立てましょう。</p>		
<p>○どこに、どんな動物がいるか予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チョウ→花のそば</li> <li>・ミツバチ→花のそば</li> <li>・ダンゴムシ→石の下</li> <li>・カタツムリ→葉の上</li> </ul> <p>○動物がそこにいると思う理由を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チョウやミツバチは、花の蜜が大好きだから。</li> <li>・ダンゴムシは、じめじめした場所に住んでいるから。</li> </ul>		
<p>○どこでどんな動物を探すのか、<b>観察の計画を立てる。</b></p>	<p>*書き方の例を示すことにより、全員が具体的に計画を立てられるようにする。</p> <p>*動物がどこにいるのか具体的に予想することで、次時の観察意欲を高めるとともに、目的をもった観察を行うことにつなげる。</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid green; border-radius: 50%; width: fit-content; margin: 10px auto; padding: 2px 10px;">学習計画</div> <p>課題解決のために、どのように情報を集めたりまとめたりするのかの見直しをもち、学習計画を立てる。</p>	<p><b>関心・意欲・態度</b></p> <p>身の回りの生物の様子に興味・関心をもち、観察の計画を立てている。 (発言・観察カード)</p>
<p>○観察の計画を交流し合う。</p> <p>○学習のまとめをする。</p>	<p>*最初にペアで交流し、その後全体で交流することにより、全員が自分の考えを伝えることにつなげる。</p>	

【板書計画】(1/5 時)

どこに、どんな動物がいるでしょうか。かんさつの計画を立てましょう。

教科書の絵

チョウ→花のそば } 花のみつをすっている  
ミツバチ→花のそば }  
ダンゴムシ→石の下 じめじめしたばしょにすむ  
カタツムリ→葉の上 葉を食べているのかな

どこに、どんな動物がいて、何をしているかかんさつしよう。

私は 場所 で動物をさがそうと思います。  
そこには 動物 がいるのではないかとよそうします。

【本時の目標】

虫眼鏡を適切に使って、昆虫などの動物の色、形、大きさや見つけた場所、していたことを観察し、記録することができるようにする。

【本時の展開】(2/5時)

ゴシックは、図書館活用ポイントを示す

学 習 活 動	*支援 ○留意点	評価の視点 (評価の方法)
○本時のめあてを確認する。		
<p>こん虫などの動物をさがしましょう。どのような動物がどこにいて、何を しているでしょうか。</p>		
○観察するときの視点と観察カードの書き方、観察するときの注意事項を確認する。	<p>*観察するときの視点カードを示すことにより、色、形、大きさ、動物はどこで何をしていたかなどの視点をもって観察できるようにする。</p> <p>○虫眼鏡を通して太陽を見ないように指導する。</p>	
○前時に予想した場所で、昆虫などの動物を観察の視点をもって観察し、観察カードに色、形、大きさなどの姿と、どこで何をしていたかを記録する。	<p>*前時に予想した場所を中心に探すが、他の場所も観察していいことを助言することにより、いろいろな場所を観察することにつなげる。</p> <p>*発表の例を示すことにより、自分の予想と照らし合わせて発表できるようにする。</p>	<p><b>技能</b></p> <p>虫眼鏡を適切に使って、昆虫などの動物の色、形、大きさや見つけた場所、していたことを観察し、記録している。 (行動・観察カード)</p>
○どんな動物がどこにいたのか発表し合い、学習のまとめをする。	○ペアやグループでの交流を中心とし、全体交流は最低限にとどめ、次時につなげる。	

【板書計画】(2/5時)

こん虫などの動物をさがしましょう。  
どのような動物がどこにいて、何をしているでしょうか。

みつけたばしょ

動物のすがた  
色  
形  
大きさなど

観察するときの視点カード

動物のようすやしていたこと

虫めがねでは  
ぜったいに太陽  
を見ません!

わたしは 場所 に動物がいるとよそうしました。  
よそうしたばしょで (よそうとはちがうばしょで), 動物 を  
見つけました。  
動物 は \_\_\_\_\_ というすがたをしていました。  
そして, \_\_\_\_\_ をしていました。

【本時の目標】

観察した動物と見つけた場所を関係付け、その周辺の環境との関わりを比較しながら考察し、自分の考えを表現することができるようにする。

【本時の展開】(3/5時)

ゴシックは、図書館活用ポイントを示す

学 習 活 動	*支援 ○留意点	評価の視点 (評価の方法)
<p>○前時を振り返り、どんな動物がどこにいたのか発表し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>かんさつした動物は、なぜそこにいたのでしょうか。</p> </div>		
<p>○観察した動物について、具体的な課題をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメンボは、なぜ水の上にいたのかな。</li> <li>・ダンゴムシは、なぜ石の下にいたのかな。</li> <li>・バッタは、なぜ草の中にいたのかな。</li> </ul>	<p>*「ふしぎカード」に記入することにより、自分が観察した動物についての具体的な課題がもてるようにする。</p>	
<p>○観察した動物は、なぜそこにいたのかについて自分の考えをもつ。</p>	<p>*自分の予想したことを思い出すことや見つけた場所の様子を思い出すよう助言することによって、動物とその周辺の環境との関わりを比較しながら考察できるようにする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">思考・判断・表現</div> <p>観察した動物と見つけた場所を関係付け、その周辺の環境との関わりを比較しながら考察し、自分の考えを記述している。 (発言・ノート)</p>
<p>○考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメンボは水の上にいるので、水の上でしか生きられないのではないかと考えました。</li> <li>・ダンゴムシは石の下の葉っぱや草を食べているのではないかと考えました。</li> <li>・バッタは草の中にいて、敵からかくれているのではないかと考えました。</li> </ul>	<p>*最初にペアで交流し、その後全体で交流することにより、全員が自分の考えを伝えることにつなげる。</p> <p>*考えを出し合った後で、自分たちの考えは正しいのかなという疑問をもたせることにより、考えを確かめようという意欲につなげる。</p>	
<p>○自分の考えを確かめるために、<b>図鑑や百科事典等の図書資料の「目次」と「索引」を使って調べようという意欲をもつ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目次を見ると、どんなことが書いてあるのかがだいたいわかるんだな。</li> <li>・索引を使うと調べたい言葉が載っているページがすぐにわかるな。</li> <li>・調べたい動物について、本のどこに書いてあるかすぐに見つけられそうだ。</li> </ul>	<p>*図鑑などの図書資料を一人一冊用意し実際に使ってみることににより、簡単に調べられそう、早く調べたいという意欲につながるようにする。</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> <p style="color: blue; text-align: center;">図書資料の 利用</p> </div> <p>図鑑の特徴や構成を知り、図鑑を利用して課題を解決する。</p>	

<p>○学習のまとめをする。</p>	<p style="text-align: center;">目次・索引の 利用</p> <p>目次や索引を使い，必要な情報を見 つける。</p>	
--------------------	---	--

【板書計画】(3/5時)

かんさつした動物は，なぜそこにいたのでしょうか。

アメンボ→水の上でしか生きられない  
ダンゴムシ→石の下にえさがある  
バッタ→草にかくれている  
チョウ→花のみつをすっている



目次の例

  
  
  
  
  

本のはじめ  
書いてあることが  
だいたいわかる

さく引の例

  
  
  
  
  

本の終わり  
調べたい言葉が  
すぐに調べられる



自分の考えをたしかめるために，かんさつした動物について調べよう！

【本時の目標】

観察した動物と見つけた場所、その周辺の環境との関わりについて考えたことを確かめるために、図書資料で調べ記録することができるようにする。

【本時の展開】(4/5時)

ゴシックは、**図書館活用ポイント**を示す

学 習 活 動	*支援 ○留意点	評価の視点 (評価の方法)
○本時のめあてを確認する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     かんさつした動物は、なぜそこにいたのか、調べましょう。                 </div>		
○分類から、自分が調べたいことについて書かれた本が配架されている場所の見当をつける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・昆虫などの動物の本は4類にある。</li> <li>・生き物図鑑も4類かな。</li> <li>・百科事典は0類にあるな。</li> </ul>	*配架の見当をつけてから図書資料を探すことにより、効率的に図書資料が見つけれられるようにする。	
○カードへの記録の仕方や出典を記すことの大切さを知り、自分の課題について調べ、カードに記録する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・答えを見つけたら、そのままカードに書けばよいんだな。</li> <li>・本で調べたときは、調べた本の題名、筆者名、ページ数をメモしておくんだな。</li> <li>・アメンボが住んでいるところについて書いているところを見つけた。</li> <li>・バッタの食べ物について書いてあるところをカードに書こう。やっぱりバッタは草を食べるんだ。</li> </ul>	○カードを渡す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>*課題の答えについて書かれているところを見つけたら、そのまま書き抜いてもよいことを伝えることにより、必要な部分だけカードに記録できるようにする。</li> <li>*題名や筆者名は表紙に書かれていることが多いことを助言することにより、すぐに見つけられるようにする。</li> <li>*「目次」や「索引」を上手に使うと調べやすいことを伝えることにより、前時の学習を思い出し、目次や索引を使って調べられるようにする。</li> <li>*なかなか図書資料が見つけれない児童や、図書資料の中から答えにあたる部分が見つけれない児童には、前時に学習した「目次」や「索引」を使うとよいことを助言することにより、見つけれられるようにする。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">                         思考・判断・表現                     </div> 観察した動物と見つけた場所、その周辺の環境との関わりについて考えたことを確かめるために、図書資料で調べ記録している。 (発言・カード)

<p>○学習のまとめをする。</p>	<p>情報モラル</p> <p>資料などを利用したときには、出典を明らかにする必要があることを知る。</p> <p>出典</p> <p>日付や資料の題名，著者名，出版社名，出版年，該当ページなどを記す。</p>	
--------------------	---	--

【板書計画】(4/5時)

かんさつした動物は、なぜそこにいたのか、調べましょう。



動物の本 → 4るい  
 生き物図かん → 4るい  
 百科事典 → 0るい

カード

調べた本

だい名

ひつ者名

ページ数

どの本のどこに書いてあったのか、かならずメモしましょう。

目次の例

さく引の例

答えが書いてある部分を見つけて書きましょう。

【本時の目標】

生物は、その周辺の環境と関わって生きていることを理解することができるようにする。

【本時の展開】 (5/5 時)

ゴシックは、図書館活用ポイントを示す

学 習 活 動	*支援 ○留意点	評価の視点 (評価の方法)
<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>かんさつした動物は、なぜそこにいたのか、かんさつしたことや調べたことからわかったことをまとめましょう。</p> </div> <p>○本で調べてわかったことを「ふしぎカード」にまとめる。</p> <p>○本で調べてわかったことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメンボは水の上で生活していて、水の上に落ちた虫を食べるので、水の上にいることがわかりました。</li> <li>・ダンゴムシは敵からかくれるために石の下にいることがわかりました。</li> <li>・バッタは草を食べるので、草むらによくいることがわかりました。</li> </ul> <p>○動物は、食べ物やかくれ場所があるところをすみかにしていることに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物（餌）があるところ</li> <li>・かくれやすいところ</li> </ul> <p>○動物などの生物は、その周辺の環境と関わって生きていることに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物となる植物がなくなると生きていけない。</li> <li>・動物と植物はつながっている。</li> <li>・動物は、まわりの自然と関わって生きている。</li> </ul>	<p>*書き方の例を示すことにより、図書資料からわかったことを自分の言葉でまとめるというイメージがもてるようにする。</p> <p>*動物の食べ物に関することとかくれ場所に関することを分けて板書することにより、動物のすみかについての二つの観点到に気付けるようにする。</p> <p>*考察の書き方の例を示すことで、自分の言葉で考えが書けるようにする。</p> <p>*最初にペアで交流し、その後全体で交流することにより、全員が自分の考えを伝えることができるようにする。</p>	<p>知識・理解</p> <p>生物は、その周辺の環境と関わって生きていることを理解している。 (発言・ノート)</p>

<p>○振り返りカードを使って、学習のめあてと課題解決の仕方を振り返り、学習のまとめをする。</p> <p style="text-align: center;">単元の 振り返りカード</p>	<p>* 図鑑等の図書資料の使い方を理解し活用できたか、必要などを抜き書きすることができたか、出典の記し方について理解できたかという観点で自己評価することにより、情報を活用した学び方について意識させるとともに、理科の学習内容が定着できるようにする。</p> <p style="text-align: center;">学習活動の 評価</p> <p>学習の過程と結果（内容）について評価する。</p>	
---	---	--

【板書計画】(5/5 時)

かんさつした動物は、なぜそこにいたのか、かんさつしたことや調べたことからわかったことをまとめましょう。

- ・水の上に落ちた虫を食べる
- ・落ち葉を食べる
- ・草を食べる

食べ物があるところ

アメンボ  
ダンゴムシ  
バッタ

- ・てきからかくれる
- ・草と同じ色でみつけにくい

かくればしょがあるところ

すみか

わかったことから考えたこと

動物は、食べ物やかくれ場所があるところをすみかにしている

ことから、

動物はまわりの自然とかがわって生きている

とを考えます。

と考えました。

# ふりかえりカード

年 組

## 学習のめあてのふりかえり

★理科の学習をふりかえりましょう。どんなことがわかりましたか。

---

---

---

## 学習のしかたのふりかえり

★学習のしかたをふりかえりましょう。どんなことができるようになりましたか。

1. どこで、どんな動物をさがすのか、かんさつの計画を立てることができましたか。	◎ ○ △
2. 見つけた動物の色、形、大きさなどのすがたや、動物がしていたことをかんさつカードに書くことができましたか。	◎ ○ △
3. 目次やさくいんの使い方がわかりましたか。	◎ ○ △
4. 調べたいことのお答えを見つけ、そのままぬき書きすることができましたか。	◎ ○ △
5. 調べた本のだい名や、ひっ者名、ページをメモすることができましたか。	◎ ○ △
6. ぬき書きした文章から、ひつような所だけを使って、わかったことをまとめることができましたか。	◎ ○ △

★図書館の本を使った理科の学習をしてみて、どう思いましたか。

---

---